



健康は日々の生活習慣が大切



第1回の大瀬良知子先生

第2回の後藤恭子先生

健康を学ぶ

12月1日(土)と8日(土)、中央公民館を会場に板倉町民教養講座が開かれました。第1回は東洋大学食環境科学部健康栄養学科の大瀬良知子先生による「明日から実践できる健康意識改革 ―健康寿命を延伸しよう―」が、第2回は管理栄養士の後藤恭子先生による「タニタの社員食堂の礎を築いた管理栄養士が伝える太らない7つの法則」と題した講演が行われました。

選挙を擬似体験

11月20日(火)、板倉高校の全校生徒を対象とした選挙出前講座が行われました。講師に県選挙管理委員会の担当者を迎えて、前半は投票に行くときの心構えなどの説明を聞き、後半では実際の選挙で使用されている記載台や投票箱を使用した模擬選挙を行いました。参加した3年生の石川莉子さん(大字板倉)は「関心が持てました。初めての選挙にはぜひ行きたいと思います」と話してくれました。



投票体験で使われる投票箱は実際の選挙で使用されるもの

歌声のプレゼント

12月11日(火)、児童館で「ママ応援コンサート」と題し、ゴスペルサークル・キャラメルボックスによるクリスマスコンサートが開催され、会場に集まった皆さんの心を癒しました。お子さん2人とコンサートを見に来た中山利華子さん(大字板倉出身)は、「感動しました。子どもと一緒に素敵な歌声が聞けるのはとても貴重な機会でした」と話してくれました。



小さな子ども楽しそうに聞いていました。

遺族会を代表して追悼の辞を述べる会長の小池清作さん



平和の誓いを新たに

11月26日(月)、中央公民館大ホールで、平成30年度板倉町戦没者追悼式が行われました。この式典は、先の大戦で亡くなられたかたがたを追悼し、平和を祈念するために毎年行われているものです。会場には、来賓をはじめ遺族会会員、板倉中学校の2年生が参列しました。遺族会会長の小池清作さんは、祖国や家族のために散っていった英霊の冥福を祈り、今日の平和な社会への感謝を述べました。

広大な遊水地は車が来なくて安心ですね



天気よい日のウォーキングは気分爽快



仲間との話が盛り上がると、足のほうは少しストップ



熱心に作品を見る展覧会に来た中学生

人をテーマに多彩な作品

12月6日(木)~16日(日)、わたらせ自然館でポップワークス2018と題した展覧会が行われました。ポップワークスは、東毛近隣+アルファの作家たちでお届けする展覧会で、会場では絵画、写真、イラスト、造形などさまざまなスタイルの作品が飾られていました。会場に置いてあるノートには「ひとつひとつ個性があって、見ていて楽しかったです」というメッセージが残されていました。

さわやかウォーク

11月25日(日)、渡良瀬遊水地を歩く、いたくらの秋健康ウォークが行われました。2つのコースで実施され、約6kmを歩くスタンダードコースに80人、約9kmを歩くチャレンジコースに35人のかたが参加しました。

参加者の皆さんは、天気にも恵まれた秋晴れの一日、どこまでも開放的な遊水地でさわやかなウォーキングを楽しみました。